

超小型深宇宙探査機「PROCYON（プロキオン）」の状況について

東京大学/宇宙航空研究開発機構

平成 26(2014)年 12 月 3 日（日本時間）に打ち上げられた超小型深宇宙探査機「PROCYON（プロキオン）」について、平成 27(2015)年 12 月 3 日の運用時間終了以降、探査機の動作状況を知らせる通信が確認できない状態が続いています。現時点で、通信が確立できない原因は不明です。今後少なくとも 1~2 か月間は正常運用への復帰を目指し、通信の確保を模索することになります。

PROCYON は、東京大学および国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）が小惑星探査機「はやぶさ 2」の相乗り小型副ペイロードとして種子島宇宙センターから H-IIA ロケット 26 号機で打ち上げました。PROCYON は、ノミナルミッションである超小型深宇宙探査機バス技術（電源、通信、姿勢制御、推進系などの超小型深宇宙探査機に必要な基本的な機能）の軌道上実証に成功しました。その後、イオンスラストの不調のため、小惑星の接近フライバイ観測は断念したものの、科学観測や地球最接近に向けた地球・月撮像などの運用を継続してきたところでした。

超小型深宇宙探査機「PROCYON（プロキオン）」概要	
ミッション概要	地球から離れた深宇宙で、超小型でも電源、通信、姿勢や軌道の制御など探査機として必要な技術が機能することを実証します。今後は深宇宙探査に有効な様々な技術の実証と科学観測を実施します。
外形寸法/質量	外形寸法：H630×W550×D550mm / 質量：約 65kg
開発機関	東京大学 / JAXA
共同実施機関	東京理科大学、北海道大学、明星大学、立教大学等
打ち上げ日時	平成 26 年 12 月 3 日 13 時 22 分 4 秒（日本時間）
打ち上げロケット	H-IIA ロケット 26 号機（「はやぶさ 2」相乗り）

本件に関する問合せ先

- ・東京大学大学院工学系研究科 准教授 船瀬龍
funase@space.t.u-tokyo.ac.jp, 03-5841-0742
- ・JAXA 宇宙科学研究所 広報担当 042-759-8008

以上

関連リンク

「PROCYON」 Facebook(<https://www.facebook.com/procyon.spacecraft>)

PROCYON (<http://www.isas.jaxa.jp/j/enterp/missions/procyon/index.shtml>)

東京大学工学部(<http://www.t.u-tokyo.ac.jp/foe/index.html>)

東京大学工学系研究科(<http://www.t.u-tokyo.ac.jp/soe/index.html>)